

ニボルマブ療法(2週毎)

医薬品名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
ニボルマブ注	240mg/body	1時間	↓													

■免疫チェックポイント阻害薬(ニボルマブ)の副作用への対応

間質性肺疾患 ----- 息切れ、息苦しさ、空咳、発熱の症状が現れた場合、速やかに病院に連絡する。

大腸炎 ----- 腹痛を伴う粘液便、血便が現れた場合、速やかに病院に連絡する。

1型糖尿病 ----- 口や喉が渇き、水分摂取が普段より多い、尿量が普段より多い場合は速やかに病院に連絡する。

神経障害 ----- 手足に力が入らない、食べ物が飲み込みにくい場合、速やかに病院に連絡する。

皮膚障害 ----- 体に発疹が出る事があるが、ひどい口内炎、まぶたや目の充血を伴う場合は速やかに病院に連絡する。

■その他

免疫チェックポイント阻害薬は、最終投与後31日以降にも重篤な副作用が発現することがあるため、投与終了後も注意が必要。